
死体探しの夏

衣魚

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

死体探しの夏

【Nコード】

N1012X

【作者名】

衣魚

【あらすじ】

大学の夏休み、僕は故郷へ帰省した。友人のNと、川の中に消えたあいつの死体の話。

山の裾野に沿って広がる段々畑のあぜ道を、僕は一人歩いていた。蒸し暑い大阪とはまるで違う、爽やかな夏。まだ少し、緑色の多く混ざった稲穂を、涼しいというより冷たい風が揺らし、葉のこすれあう音をさざ波のようにこの村へと伝わせていく。蝉の声は、どこか遠い。

風の方角には、小さな積乱雲が、真つ青な空に白く鮮明な塔をたてていた。遅かれ早かれ、あの雲は空を飲み込み、ここら一帯をどしや降りにする。僕は急いだ。川原で友人と待ち合わせしていたのだ。

川原へ下りる石段の入口に、友人　Nは立っていた。川で遊ぶ小学生たちを、目で追っているようだった。

あいつらどつかいくん待つか？　と訊ねると、Nはかぶりを振った。長くうねった黒髪が気だるく揺れた。俺、年下の女の子好きやから。「年下過ぎるやろ」と僕は笑う。Nは何も答えず、ただ唇だけを歪ませて、草の繁った石段へ足を踏み出した。

Nと僕は中学生時代、卓球部のダブルスのペアだった。ただそれだけの関係で、特にNの家に遊びに行ったりしたことはない。高校も違う。友人かと訊ねられれば頷くし、ただの知り合いかと訊ねられても、僕もNも、きつと頷くことだろう。

一緒に遊んだことは、一度だけあった。その一度だけが、僕とNを繋ぐ絆であり　それ以上の交友関係を絶った、傷でもある。

絶え間なく変わる水面の前に屈んで、Nと僕は手を合わせる。小学生的視線を身体中に感じながらも、ただ手を合わせることだけに集中する。

あの夏のお盆、僕らはここで遊び、一人の友人を亡くした。彼の死体はまだ、見つかっていない。

大学、楽しいか。目を開けると、Nが訊ねてきた。Nは水面を見

つめたまま、口を半分開いている。まあまあ、と答えると、Nは「そうか」とため息を吐くように言った。僕はNに訊ねる。Nは何しとるんやつけ。ニート。Nは即答する。蝉の声がじんわりと耳に溶け込んでから、「泳ごか」とNは笑顔でこちらを振り向いた。

知らず知らずの内に、僕たちは彼の死体を捜していた。水面を蹴って、三メートルほどの水の層を一気に潜って、飛び込み岩の隙間を息が切れるまで搜索する。川底の小石を手当たり次第に掘る。見つからないことは、分かっている。だから僕らはがむしゃらに探す。互いに声一つかけない。川の水温は冷たく、流れに乗って次々と、山の上からの冷たい水が身体に触れて過ぎ去っていく。身体はすぐに冷え、僕は水面から顔を出すたび寒さに肩を震わせた。

何十回目かの息継ぎで僕は気づく。さっきまで周りにいた小学生たちがいなくなっている。空を見てみると、重苦しい鈍色の雲が、地上を圧迫するかのようになり立ち込めていた。瞼を大粒の雨が叩いたかと思うと雷が轟いた。

Nと僕は川から上がると、川原に生えた大木の下で雨が止むのを待った。

あいつの骨一本でも見つかったら死のう思ってるんや、いつつもNは川を見つめながら言った。こんな毎日になったんはあいつのせいや。死なれへんのも、あいつのせいや。あいつの呪いなんや、全部。

僕も同じことを考えていた。Nはきつと、大学楽しいかの問いの答えを、嘘っぱちだと見抜いているだろう。

どうなるんやろ、この先。僕らは枝の隙間から覗く空を見つめた。雲は依然として黒く渦巻き、雨の勢いは止まない。ええことあるんかな、このまま生きて。Nが呟く。だけど僕らは死ねない。あいつの呪いで死ねない。生きなければならぬ。

僕は立ち上がり石段の方に目を向けた。行こう。僕は言う。雷が鳴る。「濡れて帰ろう」

Nは、どうせずぶ濡れやしな、と立ち上がった。ぬかるんだ沼の

ような道へ、一歩踏み出した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1012x/>

死体探しの夏

2011年10月9日15時54分発行